

感動の場

『仮面が見ている』
1968年 小川原 脩 画

濃密な赤に覆われた画面の中で、一頭の馬と三つの仮面が対峙しています。画面下部には、ずんぐりとした体形の馬が描かれ、顔を後ろへ向け、腰を低く落とした姿勢が不安な印象を与えます。上部には暗い灰色を背景に、赤や白、緑が散りばめられた仮面が浮かび、そのうつろな目は馬を見下ろすようです。

《仮面が見ている》は、小川原脩 57歳の時の作品です。その年、若手画家・神田日勝の《人と牛D》とともに全道展から選抜され、北海道秀作美術展に出品されました。黄や赤を基調とした強い色彩や、仮面の並びと牛の背後からのぞく人物の顔の並びには、ふたつの作品に共通する造形性がみられます。現在開催中の特別展では、同じ主題による《人と牛C》を展示しています。

小川原は本作について、「人間とは何か、くり返し問われる時代に生きて、仮構である仮面と擬人的な一頭の馬との間で、ある種のシニカルな笑を提示出来れば私の主たる目的は達せられるのである」と記しています。ここでいう「シニカルな笑」とは、単なる冷笑ではなく、人間の弱さや矛盾を見据えながらも、なお人間そのものを肯定しようとする視線なのかもしれません。

文:沼田 絵美(小川原脩記念美術館 副館長)



写真に見るちょっと昔の倶知安 —北陽小学校旧校舎—

戦後の人口増加により、昭和30年代はじめの倶知安市街地では子どもの数が急増しました。倶知安小学校は児童数が2,000人に迫る過密状態となり、新しい小学校の建設が計画されました。こうして1958(昭和33)年9月、市街地第二の小学校として誕生したのが北陽小学校です。

木造校舎が主流だった当時、淡い緑色に塗られた補強コンクリートブロック造の校舎は、モダンな建物として注目を集めました。しかし開校時には体育館もグラウンドもなく、初代校長が「原っぱの中にぽつんと建ち、机と椅子とチョークしかなかった」と回顧するほど、周囲には何も無い状態からの出発でした。その後、教職員や保護者、子どもたちの力によって施設や環境は少しずつ整えられ、校庭には緑が増え、学校らしい風景が形づくられていきました。

この旧校舎は1997(平成9)年の改築までおよそ40年にわたり、幾世代もの子どもたちの成長を見守りながら、地域の記憶とともに歩んできました。

文:紺谷 貴之(倶知安風土館 学芸補助員)



▲校舎完成を伝える当時の広報



▲南側から見た校舎(左は体育館)



▲旧校舎の教室の様子



▲小窓が印象的な体育館

ふるさと探訪

518回



▲北陽小学校旧校舎(1996年撮影)

展覧会のお知らせ

■第1・第2展示室

特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館

所蔵作品交換展 二人の歩んだ道」

会期：開催中～7月12日(日)

アート・イベントのお知らせ

■ロビーギャラリー

北口さつき「5 Elements 100% ～空風火水地」

自然から着想を得てパワフルな創作活動を続ける倶知安町在住の画家・北口さつきさんの作品を、昨年に続きロビーに展示します。

会期：6月1日(月)～29日(月) 会場：ロビー(無料)

■土曜サロン

ギャラリートーク

特別展の見どころを学芸員が解説します。

日時：6月13日(土)14時～14時30分

会場：第1展示室(無料・予約不要)

講師：沼田絵美(学芸員)

おとなの手しごと(36)まめ本作り

手のひらにのる大きさの本を作ります。

日時：6月27日(土)14時～16時 会場：ロビー(無料)

講師：金澤逸子(学芸スタッフ)

定員：10名(要予約、高校生以上のみ、親子可)

予約受付：6月26日(金)までに申込(☎21-4141)

■ミュージアム・コンサート

マリンバ・コンサート「5 Elements Story III」

北口さつきロビー展とのコラボ企画。作品のイメージから連想したプログラムを華麗なマリンバの音色でお届けします。

日時：6月20日(土)14時～15時

会場：ロビー(無料・予約不要・先着70席)

出演：井原由加子さん(マリンバ奏者)

倶知安風土館のお知らせ

■ふるさと探訪「新花の百名山の目国内岳・シラネアオイを見に行く」

日時：6月14日(日)7時30分～16時30分 定員：10人

場所：倶知安風土館 参加費：250円(保険料)

講師：古市竜太さん(マウンテンガイド・コヨーテ主宰)

予約受付：6月7日(日)までに申込(☎21-6631)

■寺子屋ミュージアム「夏の化石発掘体験！」

日時：6月20日(土)①10時～12時 ②13時～15時

場所：倶知安風土館 参加費：無料 定員：10人

講師：古野竹志さん・小森政英さん(千歳化石会)

予約受付：6月19日(金)までに申込(☎21-6631)

■倶知安いきもの調査隊「ヒナコウモリ個体数調査会」

日時：6月21日(日)18時30分～21時

場所：百年の森公園※予約不要 参加費：無料

講師：小田桐亮(風土館学芸員)、廣川大恒(百年の森管理人)

ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円[400円]

高校生 300円[200円]

小中学生 100円[50円]

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円[100円]

高校生以下、美術館観覧者無料

※年間パスポート500円

※[]内は10名以上の団体料金

開館時間は9時～17時(最終入館16時30分)

6月の休館日 毎週火曜日

*特別展会期パスポート(美術館のみ)
1,000円

*特別展会期中は高校生以下無料

賑わっています

小川原脩記念美術館では7月12日まで特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館所蔵作品交換展 二人の歩んだ道」を開催しています。

特にゴールデンウィークには道内外から多くの方にご来場いただき、賑わいを見せていました。

やはり、神田日勝の「馬(絶筆・未完)」をお目当てに来場される方が多いようで、ご覧になった皆さんは非常に満足されていました。他にも、小川原脩作品を含め、魅力的な作品が多数展示されていますので、ぜひお越しください。

また、美術館・風土館周辺にはたくさんの方々が訪れ、こちらにも賑わっています。風土館では昨年度末から「ヤツガシラ」というとても珍しい鳥の標本が展示されています。倶知安にも飛来することのある渡り鳥ですが、めったに見ることにはできない鳥です。

他にも色々な鳥の標本が展示されていますので、前庭や野外で鳥を観察してから風土館で標本を見て、外と風土館で同じ鳥を探して…という楽しみ方もできるのではないのでしょうか。

賑わいを見せている両館へのお越しをお待ちしております。

たかはし あつし
館長 高橋淳之